

6月は環境月間 ごみの減量、分別にご協力を！

問合せ／環境推進課 内線2317

志木市のごみの処理費用は、年間で約6億1千万円(平成27年度)、家庭から出るもえるごみの量は約1万2千トンとなっており、二人家庭で、年間1万7千円の負担となります。また、ごみが増えると、ごみの焼却に伴う二酸化炭素の発生や処理費用の増加など、さまざまな問題が起こります。

地球環境を守り、限りある資源を次世代に残していくことは、私たちの責任です。限りある資源を大切に使いながら、ごみを減らし、資源循環型社会の実現に向けて、ごみの減量とリサイクルに取り組みましょう。

市では独自の4Rを推進

Refuse(リフューズ)

ごみになるものは断ります。志木市独自の取組です。

Reduce(リデュース)

ごみを減らします。生ごみはギュッとひとしぼり！

Reuse(リユース)

使い捨てはやめ、再使用します。買う前にちょっと考えよう。

Recycle(リサイクル)

再資源化します。リサイクルされた商品を選ぼう。

生ごみは水分をよく切る！

可燃ごみの半分は水分です。カラスや猫などによるごみ集積所への被害軽減やキッチンを衛生的に保つためにも、生ごみを出す前にはギュッとひとしぼりしましょう。

注射器、注射針類をごみや資源に出さないで！

在宅医療で使用した注射針や点滴用針などをごみや資源収集に出すと、集積場所を管理する地域の人や収集作業員などがケガをして大変危険です。使用後の注射針や点滴用針などは、かかりつけの医療機関に渡してください。

平成28年度の微小粒子状物質(PM2.5)測定結果

志木市における微小粒子状物質(PM2.5)の現状を把握するため、県のPM2.5大気移動測定車で調査を行った結果、環境基準(日平均値 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下)を超過する日はありませんでした。

ペットのお散歩マナー

フンは必ず持ち帰る

ペットのフンは必ず持ち帰り、おしっこ後は、ペットボトルなどで持参した水で流しましょう。

犬のノーリードは危険

ドッグランなど許可されている部分を除き、公園で犬を放して運動させたり、散歩途中にリードを外したりすることは大変危険です。犬が苦手な人は、小さい犬でも恐怖を感じる場合があります。犬の安全を守るためにも、きちんとリードをつけましょう。伸びるタイプのリードを使用する場合は短くロックして使いましょう。

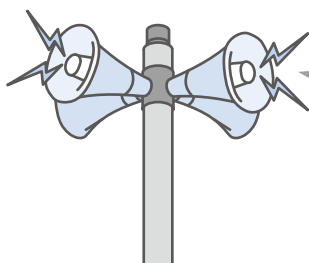


防災行政無線を使った 緊急地震速報訓練を実施します

問合せ／防災危機管理課 内線2321

市内各所に設置してある防災行政無線から、全国瞬時警報システム(J-ALERT)^{ジェイアラート}による緊急地震速報訓練のため、下記の内容で訓練放送が流れます。お間違えのないようご注意ください。

緊急地震速報訓練 7月5日(水) 10時15分頃



上りチャイム音

「こちらは、ぼうさいしきしです。ただ今から訓練放送を行います。」

緊急地震速報チャイム音

「緊急地震速報。^{おおじしん}大地震です。大地震です。これは訓練放送です。」×3回
「こちらは、ぼうさいしきしです。これで訓練放送を終わります。」

下りチャイム音